

横浜市議員 森ひろゆき 市政活動報告

カバール森そば

『私とあなた』で創る都筑

～「私」の行動力と「あなた」の経験でつなく
「駅伝型地域社会」の創造～

◆「森そば」とは？ 「いつも市民のそばに」いる「森そば」議員として行動し続けるという活動の原点を表現しました。地域に根ざし、地域の問題解決を自らのテーマに行動します！

◆「カバール(kabar)」とは？ インドネシア語で、「便り、通信、ニュース」の意味です。また英語圏の国々を理解することだけが「国際化」ではないというメッセージもあわせて込めています。

★森ひろゆきとサポーターの手で、駅頭・ご近所で継続的に配布しています。ご愛読ください！

☆森ひろゆき事務所☆

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-24-17

ペルージュスクエア201 [センター北駅前]

TEL・FAX: 045-911-8475

E-mail: mori@morisoba.org

都筑発「駅伝型地域社会」の創造へ 地域の問題解決プロジェクト展開中

「割れ窓理論」を強力に実践！
「落書きゼロ」プロジェクト



落書き消去活動前の状況

★写真は、待山橋下の自転車・歩行者専用道路における落書き消去活動の様子 [第3弾・5月18日(日)]。子どもから大人まで、各世代が参加・協働した「都筑発」の落書き消去活動を展開しました。今後ともご協力ください！

地域の落書き消しから 「住みよい都筑」の実現へ

「落書き」を犯罪の呼び水と位置づけ、昨年12月から開始した「都筑発・落書きゼロ」運動。「通学路安全確認マップ」を活用した地域の問題解決プロジェクトの一環です。目的は、落書きや不法投棄ゴミなどの「割れた窓ガラス」という小さな乱れを放置せず、それを改善して、犯罪が起こりやすい場所を着実に減らしていくこと。

その「割れ窓理論」の視点で地域への関心、生活の質の向上など地域全体の力で「次世代型の住みよい都筑」を実現していきたいと思っています。

5月には行政の協力を得て、各世代が参加・協働した落書き消去活動の第三弾を、待山橋下の歩行者専用道路(早淵三丁目)で実施。

親子で参加した方からは「子どもの安全や地域防犯について、自分には何ができるだろうと考えていた。行政はお金やモノの支援だけでなくノウハウも支援してほしい。今回、私たちが参加・実践した落書き消去活動の機会創出に感謝したい」と声が寄せられました。

これらの活動で私が強く再認識したのは、地域の事を最もよく知り、快適で安心できる住環境を創りたいと考えているのは地域住民だということ。防犯、防災、交通安全、環境、そして地域再生などの総合的な観点から、地域社会の問題解決能力を、さらに向上させる仕掛けづくりが急務です。

…裏面へ

地域の総合力を発揮！ 皆の手で“犯罪に強い街”に

他方、問題解決プロジェクトには、行政に対し秩序違反行為を放置せず、しっかりと対応させるという狙いがあります。皆様のご協力が行政への働きかけに功を奏し、**地域の自主的な落書き消去活動を支援する仕組みや、管理が行き届いてなく秩序感が薄かった「公共の場」に注目した犯罪予防策**につながっています。



★匠橋下[仲町台二・三丁目]での落書き消去活動。子どもから大人まで、地域の方々々と協働した活動を展開。

市は今年3月「よこはま安全・安心プラン」(改訂版)を策定。平成20年度から22年度まで、3年間の防犯に関する行動計画を定めました。同計画の中では地域・行政・警察の連携、協力による地域防犯の重要性などが示されていますが、現状では縦割り行政の枠を超えた“連携”の具体的な展開は、見えていません。

地域の総合力を発揮した“犯罪に強い街づくり”を強力に推進していくためにも、皆様と一緒に取り組んできた「**地域安全マップ**」づくりや「**割れ窓理論**」を行政の施策に位置づけ、全市レベルで都市計画や街づくりに活かしていく必要があるのではないのでしょうか。

「安全」は地域が創りあげてきた大切な「**公共財**」。次世代に渡り「**住みよい都筑**」を実現していく「**駅伝型地域社会**」創造のために、今後も行政のあるべき役割を明確にしていく活動を展開していく決意です。

地域の皆様のさらなるご協力をお願い致します。

★「タウンニュース(都筑区版)」平成20年7月31日号寄稿

☆「割れ窓理論」とは・・・

皆様は、「割れ窓理論」をご存知でしょうか。「割れた窓ガラス」が放置されているような場所では外部から地域全体が管理されていないと認識され、犯罪が多発していくという考え方です。

落書き、不法投棄ゴミなどの放置は、まさに「割れ窓」であり、犯罪の呼び水となります。だからこそ、“犯罪予防”の観点から、小さな乱れ[割れ窓]を放置せず、早期に修復することが大切です。

民主党横浜市議員団 「平成21年度予算要望・提言書」作成中

地域の皆様から寄せられた声や各種団体とのヒアリング等を踏まえ、民主党横浜市議員団は、「平成21年度予算要望・提言書」の作成に取り組んでいます。現在、政調会を中心に重点項目を含む各局・区への提言を取りまとめており、10月上旬に市長へ提出する予定です。

「平成20年度 横浜市民意識調査」結果速報によると、市政への要望は、1位は「病院や救急医療など地域医療」、2位は「地震などの災害対策」、3位は「高齢者福祉」、4位は「防犯対策」、5位は「ごみの不法投棄対策や街の美化」という順位です。この調査結果等も参考にしながら、“市民生活を守る”予算要望・提言づくりに取り組みます。



過日、センター北の夏祭りに参加させて頂きました。私が応援する国際協力NGOの学生たちも出店。世代や国境を超えた交流や、人の“縁”に感動しました！

「盲導犬育成」のご支援を！
色々な応援方法があります！

「森とぼの声」 Suara Morisoba

★最近、局地的な集中豪雨(ゲリラ豪雨)が多発。都筑区でも、早瀬川などの水位が急激に上昇し、氾濫注意水位を超えたほか、がけ崩れや床下浸水、道路冠水等の被害が発生。災害対策が急務です。

★私の師がインドネシアで襖絵を描く。「バリ島の棚田風景、豊かな文化芸術、力強い生命力や人間本来の生き方に触れ、久しぶりに感動した」と声が届きました。墨絵を通じて、“日本の心”を世界に伝えたい。

★子どもや若者が楽しみながら落書きを消す姿を見て、まさに“地域が教室”なんだと実感。社会に対して自分に何ができるかを考えて実践する若い世代がもっと多くなれば、きっと多くの問題が解決するはず。

☆ 森ひろゆき PROFILE ☆

- ◇1970年生まれ 緑区中山で育つ
- ◇神奈川県立白山高校卒業
- ◇拓殖大学・大学院で、国際協力を学ぶ
- ◇2003年 横浜市議員初当選
- ◇2007年 横浜市議員2期目当選
- ◇道路・安全管理委員会副委員長
- ◇生活安全・危機管理・消防・情報化社会特別委員会委員
- ◇市会運営委員会委員
- ◇民主党神奈川県第7区総支部副代表

- ★都筑区内22校の小学校通学路区域の現地調査を行い、「都筑発・通学路安全確認マップ」を作成。
- ★新潟県中越地震被災者支援活動を通じた地域防災のあり方に取組む。
- ★スマトラ沖大津波の被災地インドネシア・アチエ復興支援活動に従事。
- ★「若者アクティブ支援」として、NGO/NPO活動を展開する若者を支援。

★「通学路安全確認マップ」フォローアップ実行中！

皆様の「声」をお寄せください！！